



2023年 6月22日  
第226号

JR 東労組   
**Yokohama**

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実  
編集 情宣担当  
ホームページ

<http://www.ireu-yokohama1.jp/>



# 豊田運輸区で発生した 6月21日 人間破壊の強制転勤を許さない!

## 緊急全機関・全職場代表者会議開催!

# 怒

## ミスした社員、病氣した社員は死んでも構わない!?

## こうした会社の経営姿勢を許してはならない!

【会議での主な意見】

- 何をしても会社に守ってもらっていると思っている管理者もいる。法的手段で訴えるべき。
- 本人希望とかけ離れている。携帯に7回電話して、4名の管理者で家庭訪問して、会社は「コミュニケーションの一貫」と言うのだろう。行き過ぎたコミュニケーションだ。本人の思うコミュニケーションと乖離している。
- 簡易苦情申告票を読むと胸が苦しくなる。どの様に一緒にたたかうかが問われている。起きていることを伝え広めていく。
- 私もジョブローテーションで駅へ。簡易苦情申告した。今回もそうだが会社は転勤先の仕事内容を把握していない。転勤して感じたことは、人事異動は要員の穴埋めであること。統括センター化で常に人がいない。
- 駅では面談が一回しかない。コミュニケーションの場がない。八王子の仲間と共にたたかう。
- 精神疾患の社員が増えている。会社はそんな人に「迷惑かけていると思わないか?」としか言わない。寄り添えるのは東労組の仲間だけ。
- 「組合員だから飛ばされる」と思っている人もいるがそれは違う。サービスマネージャーがなくなる。会社は「一人ひとり面談をやる」と言っているがやっていない。会社は社員をコマとしか見ていない。今回のことを広め、自分のこととして捉えていく。



職場討議資料

# 全組合員で職場討議を行おう! 未加入者も交えて考えよう!

